

カテゴリ	番号	ご質問内容	回答
プロセス審査	1	プロセスの有効性指標の目標値設定と、目標未達成の場合の対応方法はどのようにすればよいのか？	<p>プロセスの有効性指標とは、プロセスの有効性の判定に使用している手法で、キーパフォーマンス指標(KPI:Key Performance Indicators)などです。</p> <p>目標値の設定については、QCDの観点等から組織の当該プロセスに見合った、努力して達成可能と思われるような目標値を設定することが妥当と考えられます。</p> <p>目標未達成の場合の対応方法については、プロセスの有効性評価報告書(PEAR)の有効性レベルの表現によると、「計画した結果が達成されていない場合、適切な処置がとられている。」ことが必要です。例えば「不良率が目標をオーバーした」場合、不良の個別原因の追及と対策を実施するとともに、不良全体の傾向を分析し、分析結果から何らかの改善対策を実施し、対策の有効性を確認していることが必要ということです。規格の要求では、4.1 f) 項の「これらのプロセスについて、計画どおりの結果を得るため、かつ、継続的改善を達成するために必要な処置をとる。」が該当します。</p>
	2	プロセス審査に移行したことで、直接審査の対象になりづらくなった部門(例:総務、経理、IT関連等)に対する審査方法の考え方を教示願いたい。	プロセス審査では、部門別審査ではありませんので、質問にあるような関連部門に対する審査は、それらの関連部門が関わるプロセスに対する審査として実施します。例えば、支援プロセスとして総務、経理、IT関連支援部門等を含むプロセスを設定することも可能です。
	3	PEARの有効性レベルが2の場合に発行される不適合(NCR)で重大(Ma)となるのはどのような場合か？	<p>重大不適合の定義は、9101Dの3.2項の通りです。</p> <p>有効性レベル2は、プロセスは実施されていたが、計画した結果が達成されておらず、適切な処置がとられていない状態です。適切な処置がとられていないことにより、当該プロセスから流出不適合が出ているような場合又は顧客要求の納期が達成できないような場合には重大不適合となります。</p>
	4	サービス提供が対象の審査で重大(Ma)不適合となるようなケースとは？	<p>重大不適合の定義は、9101Dの3.2項の通りです。事例としては、次のようなものです。</p> <p>事例1: ディストリビュータ(販売業)で、航空機等用素材に要求される材料証明が提示出来ないようなケースは、「サービスの完全性に対して悪影響を及ぼすと判定される不具合」に該当します。</p> <p>事例2: 顧客から各種環境試験を委託され実施している場合で、顧客要求は、最新版仕様書を適用する要求であったが、試験条件が異なる旧版仕様書で環境試験を計画し実施しているような場合は重大不適合に該当します。</p>
	5	不適合(NCR)が出される場合、何が軽微(minor)で、何が重大(Major)なのか区分が今ひとつ理解不足の状態です。事例集のようなものはありますか？	不適合の定義は、9101Dの3.2項、3.3項の通りです。日本航空宇宙工業会から「JIS Q 9100:2009の不適合指摘事例」が発行されていますので、参照願います。

カテゴリ	番号	ご質問内容	回答
SJAC9101D、 SJAC9104-1 適用	6	「価値創造の流れ」とは、どのようなものですか？	SJAC9104-1の用語及び定義では、3.27価値創造の流れ(Value Stream)を次のように定義しております。顧客への製品又はサービスを提供する端から端までのビジネスプロセス。このプロセスの各段階では、最終製品又はサービスを行うため、中間財、サービス及び情報を使用し、生産してもよい。説明会資料(2)SJAC9104-1適用のJIS Q 9100:2009認証審査について で各認証構造の図が(2)-2シングルサイトから(2)-6コンプレックスで説明されています。この説明図に記載の製品実現に係るプロセスの流れです。
	7	認証構造がキャンパスの場合に、審査工数を追加する場合の明確な基準はあるか？	9104-1の8.2.1 審査の工数では、「明確にされたりリスク、複雑さ又は認証範囲の拡大を含む領域に対して、審査工数が増加される場合がある。」との記述のみで、明確な基準はありません。 大規模で複雑な組織の場合、認証構造が複数のキャンパスからなるコンプレックスの場合と、単一のキャンパスの場合、最小審査工数に2倍から3倍以上の差があります。BSKでは、認証構造の適格性基準から単一のキャンパスと判定された組織の場合でも、最小審査工数(9104-1の表2からの10%増加を含む)に対して更なる増加が必要と判断しており、この考え方については、拡大JPMC会議にて、関係者の基本的な同意を得ております。 キャンパスに対して工数を追加するケースとして ・新造機作業／修理・整備作業 の並存：追加工数は15%を基準として個別に設定 ・複数の製品群の取扱い(例えば、航空機、誘導機器、宇宙機器等)：追加工数は、追加製品群毎に10%を基準として個別に設定 が上げられます。 尚、9104-1において、9100規格と9110規格が十分に統合されている場合、主たる規格の審査工数を15%以上増加するという規定があり、それを参考にして、BSKでは新造機作業／修理・整備作業の並存に対して、上記の15%の追加工数を基準値として設定しましたが、複数の製品群の取扱いを含めて、設定値の妥当性を今後の審査実績により、評価する予定です。
	8	シフト勤務が審査の対象となるケースは？	定常的なシフト勤務により9100規格適用製品が製造(検査、試験も含む)されている場合が該当します。一時的な納期確保のためにシフト勤務が実施されているような場合はケース毎に判断します。 また9104-1の8.2.2で「すべてのシフトに対する完全なAQMS規格の審査は、初回及び再認証審査に対して要求される。」と要求されています。
	9	JIS Q 9001からJIS Q 9100への認証変更を行う可能性がある。 JIS Q 9001とJIS Q 9100の要求の差分、受審するうえでの注意点などについて、教示願いたい。	マネジメントシステム規格のJIS Q 9001とJIS Q 9100の要求の差分は、JIS Q 9100:2009規格の斜体太字で明確です。 受審する上では、上記の規格の差分のみでなく、SJAC9101D「品質マネジメントシステム 航空、宇宙及び防衛分野の組織に対する審査要求事項」及びSJAC9104-1「航空、宇宙及び防衛分野の品質マネジメントシステム 認証プログラムに対する要求事項」に基づき審査が実施されますので、特にプロセスの有効性を含む規格要求への適合性に重点がおかれることに留意する必要があります。
	10	9001から9100へ移行する場合、必ず第一段階審査から受審しなければならないのか？	必ず第一段階からの審査が必要です。 SJAC9104-1の8.2.5「JIS Q 9001から航空宇宙品質マネジメントシステム(AQMS)規格へのアップグレード」で、「AQMS規格に関する完全な初回審査(第一段階審査及び第二段階審査)が要求される。」と規定されています。

カテゴリ	番号	ご質問内容	回答
	11	業務の拡大により、サイトの追加変更が必要となった場合、どのような流れで手続きをすれば良いでしょうか？	「認証内容変更申請書」で申請ください。審査前に追加サイトでの規格要求(組織のQMS)に基づく作業の実施、該当サイトの内部監査等が実施されていることが必要です。
	12	JIS Q 9001とJIS Q 9100で認証範囲が異なる場合、認証範囲の全てをJIS Q 9100と見なした審査工数であれば、JIS Q 9001のみ適用の認証範囲の審査工数もカバーできるのではないかと？	JIS Q 9001とJIS Q 9100の認証の範囲が異なる場合、JIS Q 9100認証範囲の審査工数とJIS Q 9001のみ適用の審査工数は各々別個に算定し明確にする必要があります。JIS Q 9100の審査工数として設定された工数は、JIS Q 9001のみの認証範囲の審査には使うことができません。別途JIS Q 9001のみ適用の認証範囲の審査工数を設定する必要があります。
規格動向 (JIS Q 9001、 JIS Q 9100)	13	大幅な改訂となるのが想像できるので、9100規格を含め、動向が固まり始めたら適時講習会等の開催を希望	適宜、説明会等で、動向をお伝えします。
	14	ISO9001:2015の箇条番号(目次構成)の変更に伴い、JIS Q 9100:2015?の箇条番号(目次構成)も追従し+AQMS要求事項を追記する方向か？	ISO9001:2015の箇条番号(目次構成)の変更に伴い、JIS Q 9100の箇条番号(目次構成)も追従し、航空宇宙の追加要求を設定すると理解しています。
	15	プロセスアプローチは推奨のままか？	確定はしていませんが、推奨(should)ではなく必須(shall)となる可能性があります。
	16	9001の規格条項番号の変更に基づき品質マニュアルが変更となった場合、9100に9001:2015の内容が適用されるまでの期間はどのような対応が必要になってくるのか？	JIS Q 9001改定版とJIS Q 9100改定版の発行時期と移行期間が明確になった段階でBSKの考え方をお知らせします。
	17	9100:2009の内容と9001:2015の内容の違いは、ほとんど無いと考えてよいのか？	(9100:2009での要求と似た要求が9001:2015に入る可能性はありますが) 9001:2015は9100:2009とは関係なく設定されます。 9001:2015に航空宇宙の要求事項を追加して9100の改定版が設定されます。
SJAC9101E の動向	18	9101Eの「PEARのプロセス評価マトリックス」で、「計画した活動が実行されていない。」が、「計画した結果が達成されている。」に該当するのはどのような場合か？	例えば購買プロセスで、毎年実施する計画となっているはずの「供給者の評価が実施されていない」状態であったが、当該プロセスのKPIである「供給者の供給する製品の納期、品質は問題がなく、組織の目標を満足している」場合が該当します。 但し、上記の場合、「供給者の評価が実施されていない」状態に対して、不適合報告書(NCR)が発行されません。
	19	9101Eでは、PEARのレベル2は、必ずNCRが発行されるとは限らないとの解釈で良いか？	9101Eでは、9101Dで規定している「プロセスの有効性をレベル“2”と判定した場合には必ず…不適合報告書(NCR)を発行しなければならない」との要求はなくなります。 但し、上記の番号18の事例のように、9101Eのレベル2と判定される場合には、プロセスの実行状況で「計画した活動が実行されていない」と判定された内容、及び／又は、プロセスの結果で「計画した結果が達成されておらず、適切な処置もとられていない」と判定された内容に対して、NCRが発行されるはずで

カテゴリ	番号	ご質問内容	回答
JABによる マーケット サーベイラン ス訪問	20	JABによるマーケットサーベイランスが実施された場合、JABの訪問費用とBSKにオブザーバーの依頼をした場合の費用はどのようになりますか？	JAB訪問により組織に対してJABからの直接的な費用請求はありません。 組織がBSKにオブザーバー参加を要請した場合、BSKのオブザーバー参加についてBSKが組織に費用請求をすることはありません。 JAB訪問により、組織の対応者の工数負担が発生することについては、認証に掛る負担として組織のご理解をお願いします。
	21	通常では、JAB訪問はないという理解で良いのか？	JABによるマーケットサーベイランス訪問についてであれば、「通常、JAB訪問は極めて少ない頻度」と考えられます。 JABによるBSKの審査に対する立会審査についてであれば、「2012年度は、BSK認証組織への立会審査はQMSに対して1件、AQMSに対して4件でした。(対象となる組織はJABが選択)」。
OASIS登録等	22	OASIS Administratorの登録は必須か？ 登録維持については、誰が責任をもつのか？	OASISデータベース管理者(OASIS Database Administrator)の登録は必須です。 OASISデータベース管理者(OASIS Database Administrator)の登録維持は組織の責任で実施していただく必要があります(登録における支援はJAQG事務局が対応していますが、不明な点はBSKにご相談下さい。) 認証機関は、組織のOSISデータベース管理者の登録維持がされていないと「認証文書」を発行できないと、9104-1規格等に規定されています。
	23	OASIS Administratorが登録されているか、どうかはBSKが把握しているか？ 認証文書発行時に確認しているか？	BSKでは審査計画前にOASIS Administrator登録及び維持の状況を確認しています。
	24	OASISの手続き等の「日本語」マニュアルが欲しい	JAQGホームページ画面のFAQからJAQGが設定した「OASIS登録作業の流れ」、「OASIS受審組織情報登録マニュアル」等が参照可能です。 <a href="http://www.sjac.or.jp/jagg/aac/aqu.htm">http://www.sjac.or.jp/jagg/aac/aqu.htm</a>
その他	25	BSK審査の際の(事前)調整・追加・変更等の相談窓口をご教示願いたい。例えば、名古屋事務所に対応、相談できるとか。	認証に係る変更等については「認証内容変更申請書」をBSK本部事務所(東京)の審査業務部に提出ください。内容によっては、本部事務所(東京)、あるいは中京事務所での打合せは可能です。